

## 計測委員会

日本医学物理学会 会長 殿

平成 25 (2013) 年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 齋藤 秀敏

委員 委員長◎ 副委員長○ 分科会リーダー△	◎齋藤秀敏、○荒木不次男、△浅田恭生、小口宏、加瀬優紀、河内徹、△川村慎二、熊崎祐、小島徹、△佐方周防、△櫻井良憲、△佐藤智春、志田晃一、田中隆宏、歳藤利行、根本幹央、羽生裕二、林直樹、△福村明史、森下雄一郎、山田崇裕、脇田明尚
今年度課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「線量標準」、「標準計測法」、「診断線量」、「光子・電子線」、「荷電粒子線」、「中性子線」、「小線源」の分科会で構成し、以下の分科会活動を行うこととした。</li> <li>2. 一次および二次線量標準における照射線量、水吸収線量計測に関する研究</li> <li>3. 標準計測法 12 に関連する研究の継続、広報、普及</li> <li>4. 診断領域線量計標準センターの運営および研究</li> <li>5. フラットニングフィルタフリービーム計測法に関する研究</li> <li>6. 荷電粒子線の線量評価に関する研究</li> <li>7. 中性子捕捉療法に関する線量評価および計測法に関する研究</li> <li>8. 小線源強度計測用ウェル形線量計校正事業の確立に向けた研究</li> <li>9. その他</li> </ol>
委員会開催 履歴	<p>4月13日 於:パシフィコ横浜 出席委員 21 名、理事 1 名、オブザーバ 2 名</p> <p>9月17日 於:大阪大学コンベンションセンター 出席委員 19 名、オブザーバ 2 名</p>
総括 不足の場合は別 紙付加可	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 線量標準分科会は、一次および二次線量標準における照射線量から水吸収線量への変換、水吸収線量標準の不確かさ低減に関する研究活動を行った。</li> <li>2. 標準計測法分科会は、標準計測法 12 2 刷および Web で初版の正誤に対応した。また、本学会 QA/QC 委員会、JSRT 放射線治療分科会、JASTRO QA 委員会、医用原子力技術研究振興財団と連携し、文書「治療用電離箱線量計の水吸収線量校正と標準計測法 12 への移行に伴う貴施設における評価線量の変化確認のお願い」を公表した。</li> <li>3. 荷電粒子線分科会は、標準計測法採用を検討するためアンケート調査を行った。</li> <li>4. 小線源分科会は、「<sup>192</sup>Ir-HDR 線量標準の整備と線量計校正システム構築に向けたアンケート調査」を JASTRO 小線源部会の協力で実施、集計し、小線源強度計測用ウェル形線量計校正事業の確立に向けた活動を行った。</li> <li>5. 診断線量、光子・電子線、中性子線分科会においても、それぞれの課題に関する研究活動を開始、継続している。</li> <li>6. その他</li> </ol>